

令和6年5月22日提出

アメリカ合衆国による臨界前核実験実施への抗議文送付

標記について、次のとおりお知らせします。

日時	令和6年5月22日(水)
場所	
内容	<p>アメリカ合衆国が今月14日に臨界前核実験を実施したことに對して抗議文を送付したものを。(別紙参照)</p> <p>諫早市は、平成17年に「平和都市諫早」を宣言して以来、平和行政推進のために各種取組を行ってきた。被爆地長崎の一員として、また非核宣言自治体の責務として、他国による核実験に對し抗議することとしている。</p> <p>送付先:東京都港区赤坂1-10-5 在日米国大使館</p>
問い合わせ先	諫早市 企画財務部 企画政策課 担当:村田 電話番号:0957-22-1500(内線 3611) E-mail:kikaku@city.isahaya.nagasaki.jp
担当課	同上
備考 (記事解禁日等)	

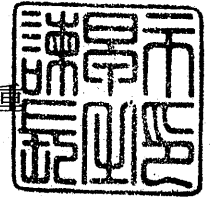


抗議文

令和6年5月22日

アメリカ合衆国大統領
ジョー・バイデン 閣下

諫早市長 大久保 潔 重



貴国において、臨界前核実験が今月14日に実施されたとの報道に接し、核兵器がもたらす悲劇を経験し、世界中の誰にも二度と同じ体験をさせてはならないと懸命に訴えてきた長崎の一員として厳重に抗議します。

貴国が行った臨界前核実験は、「核兵器のない世界」を目指す国際情勢の中で、被爆者をはじめ核兵器廃絶と恒久的な平和を願う全世界の人々の切なる思いを打ち砕くものであります。

私たちはこれまでも再三にわたり、核実験の中止を要請してまいりましたが、貴国が実験を強行したことに對し、改めて厳重に抗議します。

貴国におかれましては、人類の脅威となる核兵器の開発と維持につながるいかなる核実験も即時に中止し、真摯な核軍縮への取組及び核兵器廃絶に向けた主導的役割を果たされるよう強く求めます。